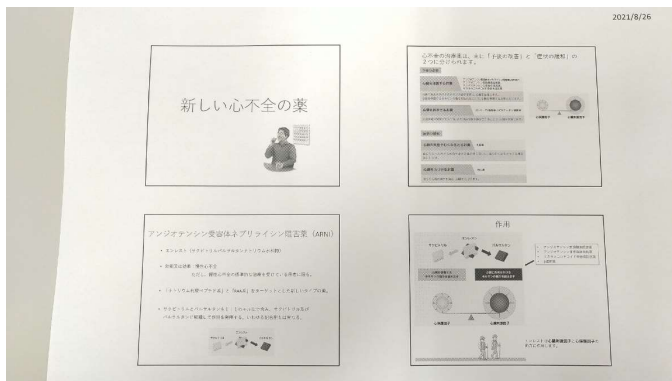




①第2期実務実習が終了となりました

毎年、薬学生の実務実習を受け入れています。
今年度も第2期(5/24~8/6)として1名の学生さんが来られていました。
実習中には心臓リハビリテーションチームのカンファレンスに参加し、新たにガイドラインに加わった薬剤について説明してもらいました。また、実習終了頃には「ロコアテープによる胃腸障害(副作用)」について症例報告を兼ねてまとめ、薬局内勉強会にて発表してもらいました。



②薬局内勉強会をしました

上記実習発表と併せて、Web開催された第4回日本病院薬剤師会 Future Pharmacist Forum への参加報告がありました。入院早期から在宅での生活を考慮した支援を行う事や不眠への投薬、特にベンゾジアゼピン系の使用についての対応など、当院でも今後取り組んでいけそうな内容が報告されました。

また、新型コロナウイルス感染症に新たに適応が通った「ロナプリーブ」についての勉強会を薬局内で行いました。実際の使い方から注意すべき副作用などについて薬剤師間で情報共有しました。

ロナプリーブについて

ロナプリーブは、新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)による感染症に対する治療薬です。

◆ このお薬は、SARS-CoV-2に結合する「カシリビマブ」と「イムデビマブ」という2種類の抗体*を混ぜ合わせて使用します。SARS-CoV-2に2種類の抗体が結合することで、新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)の増殖を抑制すると考えられています。

*抗体: 特定の病原体(目印)に特異的に結合して、その病原体の生体内からの除去を促す分子

1回の点滴静脈注射を行います。

使用回数
以下の投与量に基づき、1回の点滴静脈注射を行います。




第4回日本病院薬剤師会 Future Pharmacist Forum (7/10-7/18) Web開催
【特別講演2、委員会主催シンポジウム16(各135分)】

●病院薬剤師への期待
＜薬機法改正＞ 今年8月から新たに2つの薬局機能の認定がスタート
①「地域連携薬局」: 入院時の医療機関等との情報提供や、在宅医療等に地域の薬局と連携しながら一元・継続的に対応できる薬局 ②「専門医療連携薬局」: がん等の専門的な薬学管理に専門的な医療機関と連携して対応できる薬局。
※地域連携薬局には月30回以上の医療機関との情報共有が求められており、このためトレーニングの数が最近増加。

＜今後の病院薬剤師に求められるべき役割＞
①チーム医療による多職種連携、②薬の専門家としての薬物療法への積極的関わり ③外来支援、④チーム医療による多職種連携、⑤在宅医療を含めた地域連携への関わり ⑥電子処方箋・臨床研究、手術室・ICU等への業務 ⑦在宅医療を含めた地域連携への関わり ⑧電子処方箋・臨床研究、手術室・ICU等への業務 ⑨医療安全への取り組み ⑩RMP等を活用した副作用モニタリングによる医薬品適正使用への貢献 ⑪対物業務の効率化 ⑫最新の知見習得等の生涯研修の質向上 ⑬災害時・衛生管理・感染防止への対応

③第3期実務実習が開始しました

第3期は2人の実習生が来られました。第2期同様、セントラル業務、病棟業務、チーム医療など様々な経験ができるよう、スタッフ全員で協力して実習に対応していきます。

